

「中学硬式」

(取材文字真・高木遊)

二刀流候補の逸材

未

来の甲子園球児やプロ野球選手を目指す中学球児たちの熱い戦いが全国各地で行われた。今回はその中で光った選手たちを紹介したい。

身長184^{cm}94^{kg}という一人だけ高校生が混じっているような体格を誇るのは**小野寺瑞生**(川崎中央リトルシニア)。父・智さんは「バナナを置いておいたら、一房ごと食べちゃうし、おやつと言っておにぎり4つ(笑)。もう食費がかかってしょうがないですよ」と笑う。

3月に横浜スタジアムで行われたベイスターズカップでは、同大会史上初となるスタンドインの本塁打を2打席連続で放った。投げて最速143^{km/h}のストリートが武器だ。

中学硬式野球日本一を争うジャイアンツカップでは、1回戦で優勝した羽曳野ボーイズに0対1の投手戦の末に敗れたものの、7回1失点と

好投を見せた。

また同大会前にはリトルシニア日本代表として全米選手権に出場。「海外選手は体格だけでなく、球や足の速さなど個々の能力に驚きました」と刺激を受けるとともに、中心選手として日本代表の2連覇に貢献。ベストナインにも輝いた。

その身体能力については、川崎中央リトルシニアの澤田健一監督も「地肩の強さや打球の飛距離は教えてできるものではない」と舌を巻く。

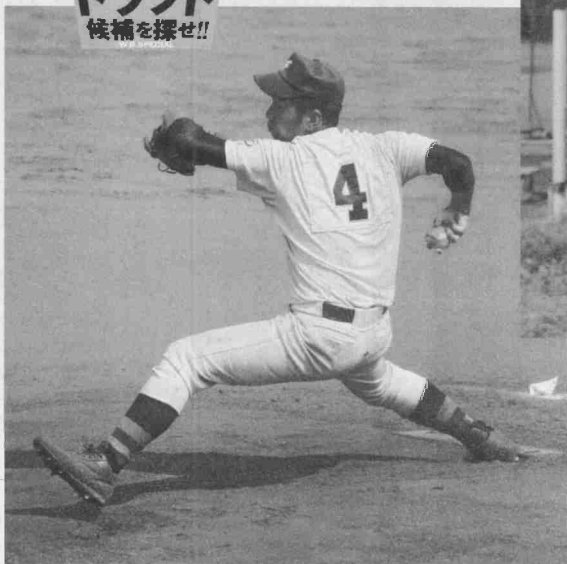
そしてこの夏は甲子園のテレビ中継からも大きな刺激を受けたという。「野手ではやはり、1学年上の清宮選手(早実)もすごいなと思いますし、投手では球が遅い投手でも、キレが全然違いました」と目を輝かせた。目標の選手は田中将大(ヤンキース)の名前を挙げた小野寺。恵



中学生離れした体格を持つ小野寺は、まさにネクスト清宮と呼べる

走攻守三拍子そろった中川は高校では二刀流としての期待もかかっている

高校1・2年生を育田真一! 近未来ドラフト候補を探せ!!



まれた体格に、柔軟性や忍耐力が備わってくれば怪物誕生の予感も漂う。走攻守三拍子そろった内野手として評価が高いのは、**中川卓也**(大阪福島リトルシニア)。「三番・セカンド」の攻守の要、そして主将としてリトルシニアの全国大会では、春夏連続で8強に導いた。投げて最速138^{km/h}の伸びのあるストリートに加え、変化球も器用に操り、ジャイアンツカップでは春のボーイズリーグ王者・枚方ボーイズを完封してみせた。

中尾学監督も「あの子で負けたらしょうがないと思うほど、ここ一番でしっかりやってくれる子です。器用で真面目。何も言うことはありません」と称賛を惜しまない。中川自身も目標の選手に大谷翔平(日本ハム)を挙げており、高校野球でも投打にわたる活躍に期待したい。

このほかに最速145^{km/h}を誇る**根尾昂**(飛騨高山ボーイズ)、ともに最速142^{km/h}の**柿木蓮**(佐賀東松ボーイズ)と**鈴木裕太**

(新潟リトルシニア)の速球派右腕や、コンゴ人の父を持ち投打で高い身体能力を見せる、身長190^{cm}の**万波中正**(東練馬リトルシニア)も楽しみな存在だ。

「ネクスト清宮」は誰だ!?

次世代を担う中学3年生を紹介